

男女共同参画会議 第17回重点方針専門調査会	資料12
平成30年10月3日	

(通し番号 199・200)

## 「女性活躍加速のための重点方針 2018」

### Ⅲ 女性活躍のための基盤整備

2. 性別にとらわれず多様な選択を可能とするための教育・学習の充実

a) 学校教育段階からのキャリア形成に係る学びの充実

b) 学校現場等におけるいわゆる「無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)」への対応

(文部科学省説明資料)





## 背景・課題

- 諸外国と比べて政治参画や経済参画全般、教育分野でも男女間格差が大きく、ジェンダーギャップ指数は過去最低を更新
- 就労の場等のみならず、学校現場においても、無意識に男女の役割に対する固定的な価値観を与えたとの指摘
- 次世代の若者、学校教育段階の子供たちへの働きかけやこれを担う教員の意識改革は国全体で取り組む喫緊の課題

## ジェンダー・ギャップ指数(2017)

経済、教育、保健、政治の各分野について各国の社会進出における男女格差を示す指標  
**日本：114位(過去最低) / 144か国**  
出典：世界経済フォーラム (WEF)

## 取組の必要性

- 次世代の若者が、各人の生き方、能力、適性を考え固定的な性別役割分担等にとらわれずに、主体的に進路や職業を選択する能力・態度を身に付けるような指導を行うことができるように促すとともに、情報提供及び基盤整備の充実が必要

### 第4次男女共同参画基本計画

第10分野 教育・メディア等を通じた意識改革、理解の促進

3 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実

イ 多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会

### 具体的取組

- 子供の頃から男女共同参画の視点に立ち、ライフプランニングを踏まえた総合的なキャリア教育の推進
- 固定的な性別による考え方にとらわれることなく、生徒が主体的に進路を選択する能力・態度を身に付けるような指導
- 女子学生等を対象とした人材育成プログラムの開発・実施

## 女性活躍加速のための重点方針2018 (平成30年6月12日すべての女性が輝く社会づくり本部決定)

- 学校教育段階からのキャリア形成に係る学びの充実  
若者が男女共同参画の視点に立って、自らの将来の職業や様々なライフ・イベント、社会において果たす役割等を含めたライフキャリアについて考える機会を充実させるよう、小学校から大学までの各学校教育段階それぞれが発達段階を踏まえ、**学校現場等において活用できる教育プログラムの開発等の取組を推進**する。
- 学校現場等におけるいわゆる「無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)」への対応  
特に学校現場において、児童生徒等が自身のライフキャリアを固定的な性別役割分担にとらわれず考えられるようにするため、**指導的立場にある教員が自身の「無意識の偏見」に気付くためのプログラムを開発できるように検討**する。

## 事業概要

### ライフプランニング教育プログラムの開発

高校生・大学生の若者が各人の能力や適性、学びや職業、ライフイベント等を総合的に考え、主体的に将来を選択する能力・態度を身に付ける教育機会を充実するため、学校現場等において活用できる教育プログラムの開発・試行を行う。

※2020年度：プログラムの実施・分析

### 成果

- 高校生、大学生を対象としたライフプランニング教育のモデルカリキュラム  
【2019年度、2020年度】

### 男女共同参画の推進に向けた教員研修プログラムの開発

児童生徒等が自身のライフキャリアを固定的な性別役割分担にとらわれず考えられるようにするため、これに資する教員研修プログラムを検討する。2019年度においては、国内外・異業種を含む先進的な研修事例等の収集・分析をし、全国の小・中学校、高等学校の実態調査を行う。

※2020年度：学校の実態や先進的な研修事例等を踏まえ、教員研修のモデルプログラムを開発

### 成果

- 教員研修プログラムの開発に資する基礎データ・研修事例及び分析結果  
【2019年度】
- 教員研修のモデルプログラム【2020年度】